



# カリオン

Vol. 11



2010年2月

発行 姫路赤十字看護専門学校  
発行責任者 学校長 湯浅志郎  
編集責任者 事務部長 久保純一  
〒670-0063 姫路市下手野1-12-2  
TEL/FAX 079(299)0052(直通)

## 第111回生 厳かに戴帽



私達は、この姫路赤十字看護専門学校に入学してから約半年間、看護について多くのことを学んできました。看護の対象である患者様やご家族に対する身体的・精神的ケアの大切さや難しさなど、さまざまなことを学び、また自ら考えていくことで専門職業人としての自覚が生まれてきました。

これらの学びの中でも、最も大切にしていきたいと思うのは、いつでも患者様を第一に考えることです。どうすることでより安全・安楽を保つことができるか、痛みを緩和できるか、など患者様にとって最適な看護を提供していくことが目標です。今日48名全員で戴帽式を迎え、ナースキャップをいただいたことをとても嬉しく思います。ナイチンゲールからいただいたこの灯を胸に抱き、私達それぞれが目指す看護師になれるようにこれからも初心を忘れず、笑顔を決やさず、日々精進していくことを此処に誓います。

平成21年10月28日

(第111回生代表)

### 行事予定 (平成22年1月～4月)

**1月** 20日(水)21日(木)平成22年度一般入学試験  
26日(火)27日(水)クラスⅠ基礎看護学実習Ⅰ-3  
29日(金)～2月16日(火)クラスⅠ基礎看護学実習Ⅱ

**2月** 21日(日)第99回看護師国家試験  
22日(月)～クラスⅡ領域別実習開始

**3月** 3日(水)卒業を祝う会  
10日(水)クラスⅢ卒業式  
20日(土)～春季休業  
26日(金)国家試験合格発表

**4月** 2日(金)新入生オリエンテーション  
3日(土)春季休業終了  
5日(月)平成22年度授業開始  
6日(火)クラスⅠ(112回生)入学式  
9日(金)新入生歓迎会  
29日(木)～5月5日(水)保健週間

#### 姫路赤十字看護専門学校教育理念

本校は、赤十字の基本理念「人道」を看護実践で具現化する看護師を育成することを使命とする。看護は人間の健康生活にかかわるケアリングである。本校では、対象者と学生、ならびに学生と教員間のケアリングを目指してリフレクションを教育の基調とする。

#### 【教育目標】

- 1) 人道（ヒューマニティ）を基盤とする赤十字の思想に基づき、人間の生命と健康を守り、苦痛を予防・軽減し、尊厳を確保できる豊かな人間性を養う。
- 2) 人間を身体的・精神的・社会的に統合された存在として、幅広く理解する能力を養う。
- 3) 人々の健康と生活を、自然・社会・文化的環境とダイナミックな相互作用等の観点から理解する能力を養う。



- 4) 赤十字の基本原則を基盤とする看護専門職業人としての職業倫理観をもち、看護を実践できるとともに、最新知識・技術を自ら学び続ける基礎的能力を養う。
- 5) 人々の健康上の課題に対応するため、科学的根拠に基づいた看護を実践できる基礎的能力を養う。
- 6) 健康の保持増進、疾病予防と治療、リハビリテーション、終末期など、健康や障害の状態に応じた看護を実践するための基礎的能力を養う。
- 7) 看護の実践は「安全」で「安楽」を第一義とし、医療事故を未然に防止できる能力を養う。
- 8) 保健・医療・福祉制度と他職種の役割を理解し、チーム医療を実践するとともに、人々が社会的資源を活用できるよう、それらを調整するための基礎的能力を養う。
- 9) 赤十字の諸活動に興味関心を持ち、将来、赤十字の理念のもとに活動する看護師として国内外で活躍できる基礎的能力を養う。

2009年4月 改訂

# 看護の心をのせて



憧れのナースキャップを戴き、嬉しく思う気持ちと専門職業人としての責任感を自覚しました。どんな時も笑顔をやさず前向きに、同じ志をもつ友と助け合いながら、日々努力を重ねていきます。

(クラス I)



## 戴帽生 喜びの声



戴帽式を迎え、今まで憧れてきたナースキャップをいただくことができ、本当に嬉しい気持ちでいっぱいです。今の気持ちを決して忘れずに、患者さんに元気を与えられるような看護師に近づいていきます。

(クラス I)



戴帽式を通して私は、看護師を目指す意識がより一層高まり、またその責任の重さを改めて感じました。戴帽式は終わりましたが、この戴帽式で得た新たな決意をこれからも忘れずに学校生活に励みます。

(クラス I)



とても緊張しましたが、皆でキャップをもらえた喜びと看護師に少し近づいたような嬉しさでいっぱいの戴帽式になりました。この気持ちを忘れず、百分が描く看護師像に近づける様に精一杯頑張っていきます。

(クラス I)



私達は、48人全員が無事に戴帽を迎えることができ、本当に嬉しく思っています。

今後、看護学生であるという自覚をさらに高め、クラスメイトと共に切磋琢磨しながら、日々成長していきます。

(クラス I)



## 戴帽を祝う会

### 戴帽を祝う会 在校生から



戴帽式を終え、学校に帰ってきたクラスⅠの頭の上には白いナースキャップが輝いており、とても生き生きとした表情をしていました。今年の自分たちも同じような表情をしていたのだと思い、懐かしい気持ちになりました。

私たちは昨年先輩方に祝って頂き、とても嬉しく、感動しました。同じようにクラスⅠにも喜んでもらいたいと考えて、戴帽を祝う会の準備をしました。成功できて良かったです。

(クラスⅡ)

## 記念講演

### 「かづきれいこのメイクに学ぶ ～医療者のためのリハビリメイク～」

メイクと聞くと「化ける」ことだと考える人はたくさんいるでしょう。しかし、今回の講演は、私のそんな考えを根底からくつがえすものでした。スライドに映し出される人たちは「化けて」いる訳でも、仮面をかぶっている訳でもなく、ありのままの自分を受けとめ、本当の自分と向き合っていました。「メイクに副作用はない」ということも、かづきメイクの魅力であり、かづきメイクが快く受け入れられる理由ではないかと感じました。

ひとつの同じ物事にも人によってたくさんの方の見方があります。メイクを「お洒落」ではなく「社会復帰」ととらえる考え方は、私にとって新鮮なものでした。メイクは科学的な技術を用いなくても、人の心をケアし、生活を改善することができる。今、授業で私たちが習っていることが看護のすべてではないと感じました。これからは、もっといろいろな角度から看護について考えていきたいと思っています。

(クラスⅠ)



## 本社研修およびレクリエーション

本社研修では、日本赤十字社本社の見学や大津赤十字看護専門学校学生と交流ができました。ナイチンゲール記章を受章された川嶋みどり先生の講演もあって、沢山の貴重なお話を伺うことが出来ました。学校では学べないことを学び、クラスの皆とも多くの時間を共有できた実りのある研修でした。



(クラスⅡ)



### 講演

#### 「看護の魅力と喜び」

日本赤十字看護大学学部長 川嶋 みどり先生

本社研修で、川嶋みどり先生の講演を聞きました。先生は、看護師の手からぬくもりを伝えることの大切さや、普段の生活から感性や想像力を磨く大切さなどを話して下さいました。

私は先生の看護に対する思いに大変刺激を受け、先生のように看護を深めるために日々努力していきたいと思いました。

(クラスⅡ)



## 保育所実習



保育所実習で、作品展に向けて自分の体よりも大きな動物を作っている子どもや、五歳児が三歳児に砂団子の作り方を教えているようすを見て、発達段階の基準よりも大きく成長している子どもたちが多かったです。担任の先生は、小学校入学までにここまで成長してほしいという目標をそれぞれの子に持ちながら関わっておられたので、看護師と少し似ていると気付きました。

(クラスⅡ)

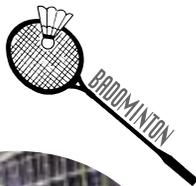


## 球技大会

12月22日(火)、中央体育館で球技大会を行いました。種目は、バレーボールとバドミントンで、各学年でチームを作りチーム対抗戦で行いました。普段お世話になっている病棟スタッフの方や講師の先生にもたくさん参加していただき、交流を深める良い機会となりました。

試合はどのチームも団結し、チームワークが良く、真剣で白熱した中にも、楽しさがあふれるものとなりました。とても良いリフレッシュの機会となりました。

(クラスⅡ)



## スーさん・チカさん交流会

12月18日に、インドネシアの看護師候補生スーさん、チカさんとの交流会を開きました。インドネシアの国や、日本での暮らしについて、学生から受けた多くの質問に、熱く、楽しく語って下さいました。わからない日本語も辞書で引きながら、必死に授業を理解しようと取り組む姿に、私たちも刺激を受けています。国家試験合格に向けて、頑張ってくださいね！学生みんなで応援しています。

(クラスⅡ)



## 在宅看護論実習（えぶりい）



腹臥位 体験中

在宅看護論実習の一環で「えぶりい」で実習しました。残存機能を活かした作品作りなどの活動をされており、可能な方法を取り入れて利用者さんが「選択する」ことを大切に関わられています。ボタンを押すだけで使うことが出来る電動

ハサミを使用していたのもその一例です。職員も皆明るく、利用者さん主体の関わりで、看護・介護を受ける利用者さんも楽しんでいる感じがしました。

（クラスⅢ）

## 在宅看護論実習

（介護老人保健施設ゆめさき

デイケア・デイサービス）

利用者の方の「ここに来るのが楽しみなの」という言葉が印象的でした。普段の生活で外部との関わりが少ない方も多く、介護サービスが同年代の方と触れ合う場にもなっていました。在宅で生活されている高齢者に医療者が関われるこの場での、心身の異常の有無の観察や日常生活動作維持のための援助がとても大切で、それが生活の質の向上にもつながっているのだと実感しました。



（クラスⅢ）

## 老年看護学実習

（兵庫県立循環器病センター）



兵庫県立循環器病センターで、認知症の検査入院をされている方々と関わらせてもらいました。ついさっきのことを忘れてしまう怖さや、何かほかに忘れてしまっているのではないかという不安をどう軽減したらいいのか、「大丈夫、よく私もあることです。」と言うより「思い通りにできなくて、不安だったんですね。」と先ず患者さんの気持ちに共感することの大切さを学びました。

（クラスⅢ）

## 精神看護学実習（播磨大塩病院）

播磨大塩病院で実習中、クリスマス会をしました。患者さんの特徴をふまえ、どのようにすれば全員が参加でき楽しめるかを考えて、巨大リース作りを企画しました。最初は飾り付けだけを考えていましたが、看護の意味づけをしてコミュニケーションや作業をする機会を増やし、妄想などから離すきっかけとなるよう飾りを作ることから一緒に行いました。女性病棟では器用な方が多く、患者さんとともに私たちも楽しみながらリースを完成し達成感を得られました。

（クラスⅢ）



## 東井義雄賞「いのちのことば」入賞

東井義雄賞「いのちのことば」に2年生が応募し、特別賞に中村望、佳作に紙谷衣璃、福井真紀、宮本潤香の4名が入賞しました。



特別賞 中村望

ことば

「のんちゃんは、ばあちゃんの生まれ変わりなや。ばあちゃんが残していつてくれたじいちゃんの宝。ばあちゃんより長く生きよ。」

ことばを受けたときの状況

幼少の頃、母方の祖母が亡くなった。やさしく聡明だった祖母。私は大好きだった人がいなくなり、祖母の姿を思い浮かべては泣き出す毎日だった。

ようやく悲しみが薄らいできたある日、私は祖母との思い出が詰まった祖父の家を訪ねた。居間の祖父はずっと長い間生前の祖母と私の写真を見比べ続けていた。ふと、顔を上げてやがて口を開いた。「のんちゃん、ばあちゃんにそっくりや。」顔も、性格も母親ではなく祖母に瓜二つなのだ。驚く私に祖父はこの言葉を続けた。自然に涙が溢れて、亡くなった人とはもう二度と会えないが、祖母は私の中で生きているのだと、幼少の心に深く刻まれた。同時に、祖父の宝としてずっと輝いていられるように、私は祖母のように正しく誠実に生きよう。祖母より長く幸せな人生を生きようと思った。

私にとってはその言葉が十数年経っても変わらず輝き続ける宝だったのだと、祖父が亡くなった今、噛み締めて思うのだ。

## シンガポール青少年赤十字メンバー来校

昨年12月13日、シンガポールから青少年赤十字に所属する学生さんと指導者さん、そして兵庫県支部の方が来校され、学生ボランティアとして参加しました。一緒に食事を取りながら学校を紹介したり、シンガポール赤十字についての説明を受けました。食事の後は実習室で新生児の沐浴や吸引などを説明しながら実際に演習しました。その後、日本の文化の一つであるお茶の説明をし、一緒に頂きました。滞在時間は約3時間ほどでしたが、国際交流を図ることができ、貴重な時間を過ごすことができました。

(クラス I)



## 兵庫県国民保護共同実動訓練に参加

11月30日 9:00~13:00 人と防災未来センター

今回、兵庫県国民保護共同実動訓練に参加させて頂いて、とても貴重な体験をすることができました。

いつどこで起こってもおかしくないテロ。私たちは化学剤に暴露した被災者の役でした。危機状態に陥った人がどのような気持ちになるのか。また、医療者として、どのような看護を提供し、不安を軽減していくことができるのか。そのヒントとなることを身をもって学ぶことができましたと思います。

(クラス I)



今回の訓練では、警察・自衛隊・医療関係者など皆の演技が真剣で臨場感たっぷりだったので、私もすぐ被災者にはいりこめました。自衛隊や救急救命士の方々に実際に救護されたときは、すごく頼もしく感じました。救急車で運ばれたり、海上保安庁の犯人捕獲のシーンを見たりなど、普段ではできない貴重な体験をさせていただきました。この訓練が非常事態の備えになれば幸いです。次の機会にも是非参加したいです。

(クラス I)

## 第7回 関西看護学生看護研究大会 口演発表

関西看護学生看護研究大会でテーマ「アルツハイマー型認知症の夫を介護する妻への援助」を発表しました。自分が体験した患者さんとの関わりを、関西の各地域から来た大勢の学生を前にプレゼンテーションし、質問や意見をもらえるというのはとても刺激的でした。

発表準備には苦しみましたが、先生方や仲間達に支えられて何とか終わることができました。良い体験でした。

(クラス III)



# 講師紹介



「家族論」を担当しています。長女が喘息に罹り（もう30年近く前ですが）、本格的に治療していただいたのが姫路赤十字病院です。長男と次男が生まれたのも姫路赤十字病院です。浅からぬ縁のようなものを感じています。自分の未来を見据えて学びに取り組もうとする皆さんの姿勢に感動を覚えつつ、できるだけ看護の諸問題につながるような視点を提供していきたいと考えています。次年度からは科目名が「人間と社会」になります。これからもよろしくお付き合い下さい。

(近大姫路大学教授 家族論講師)

新カリキュラムでは、「成人看護学-セルフケアの再獲得」を担当させていただくことになっています。講義は、セルフケアを再獲得し、再びその人らしく生きていくための看護支援について理解していただくために、これまでのリハビリテーションの臨床経験を活かし、学生の皆さんにわかりやすく伝えることができるように心がけていきたいと思えます。人間味溢れる看護師に成長されることを心から期待いたします。

(リハビリテーション技術課長・理学療法士・呼吸療法認定士)



私が母校で講義をさせていただくようになって約10年になります。講義に当たっては、医療の進歩に伴って年々内容が変化しながら厚くなる教科書から、如何に看護の要点を集約させて限られた講義時間内に伝えるかが課題です。学生からは臨床の事例を聞きたいとの意見があるので、学生がイメージしやすい事例や特異的な事例を1つでも多く取り上げることで、少しでも興味を持って学習してもらえようようにしたいと思います。

(姫路赤十字病院6階東病棟師長)

## 歴史シリーズ

### 御歌 四方の國 (みうた よものくに)

四方の国 むつみはかりて すくはなむ  
さちなき人の さちをえつべく

この御歌は大正14年4月、貞明皇后陛下（大正天皇の皇后）より、本社に御下賜されたもので、現在、全国の赤十字看護専門学校の入学式、戴帽式、卒業式などで歌われている。

レコードは澤崎定之指揮、東京音楽学校生徒歌により録音、桐竹鳳凰と赤十字マークが印刷されている。裏面は同じく指揮、歌で「日本の赤十字」が入っている。

(副学校長：樺山 たみ子)



# 赤十字活動



兵庫県台風第9号災害 募金活動



NHK海外たすけあい 街頭募金



姫路赤十字病院 クリスマスコンサート



小児病棟訪問班 クリスマス会



献血班 クリスマスキャンペーン



播磨大塩病院 クリスマスコンサート

奉仕団活動には献血班、院内図書班、小児病棟訪問班、施設訪問班があります。ボランティアの要請があったときは、学生に呼び掛けて参加してくれる人を募ります。活動をしていると様々な人達と関わる機会があり、新しい発見があったり、たくさんのことを学んだりします。また、「ありがとう」や「お疲れさま」と言われることも多く、活動していてよかったと感じます。これからも、少しでも誰かの役に立てるよう活動していきたいです。

(姫路赤十字看護学生奉仕団団長 クラスI)

## 季節の花々



### マザーリーフ

学校のマザーリーフに花が咲きました。

この花を咲かせることは非常に難しく、「幻の花」と呼ばれています。そっと見守り続けることで、たくさんのお花を咲かせました。私たちの教育のよう……ガンバレ受験生。

### 編集後記

年々1年を短く感じるのは、年を重ねたせいだろうか。

昨年4月からは新カリキュラムでの教育が始まった。新カリキュラムを運用することは、魂をふきこむ作業だときいて、身の引きしまる思いであった。また新しい考え方は、2年生3年生にもできる限り活かしたいと試行錯誤の日々だった。

新年を迎えたが、看護師国家試験までは気をぬくことはできない。全員合格した時に初めて、晴れ晴れとした新年を迎えた気持ちになれると思う。もうしばらく、楽しみはとっておこう。

皆様にとって、素晴らしい1年になりますように。

(専任教師：名村 かよみ)

